

# 北海道札幌市：札幌市における脱炭素の取組

## 事業計画の特徴

- 市有施設及び廃棄物最終処分場への再エネ発電設備の導入をモデルに、積雪寒冷地におけるPPA事業を推進し、札幌市内の民間事業者や北海道内の公共施設及び民間事業者へと取組を波及させていく
- 再エネ発電設備と定置型蓄電池とを組み合わせることにより、再エネ利用率を拡大する
- 市民モニターへの高効率機器導入をモデルに、熱源転換による長期的なコストメリット等を普及啓発し、市域における高効率機器導入を推進する

### 事業計画の概要（民間） 再エネ：1,935kW

取組（個人）	規模
高効率空調設備の導入	• 155件
高効率給湯器の導入	• 151件
コージェネレーションシステムの導入	• 2,000件
取組（事業者）	規模
太陽光発電設備の導入	• 120件 • 1,935kW
蓄電池の導入	• 119台 • 1,975kWh

### 事業計画の概要（公共） 再エネ：4,737kW

取組	規模
下水道施設等へ太陽光発電設備の導入（PPA等）	• 3件 • 2,536kW
廃棄物最終処分場を活用した太陽光発電設備の導入（PPA等）	• 1件 • 2,201kW

### 事業計画の効果・費用

再エネ導入	CO2削減	総事業費	交付金額	計画期間
6,672kW	109,109 t-CO2	18億円	9億円	令和4年度 ～ 令和9年度

### 取組のイメージ

北九条小学校 壁設置型太陽光パネル

